

平成26年度

(平成25年度実績)

清掃事業概要

常滑市環境経済部生活環境課

目 次

1. 常滑市の概要	2
(1) 沿革	
(2) 市勢	
2. 清掃事業の沿革	3
3. 事務分掌及び職員状況	5
4. 清掃施設	6
(1) 一般廃棄物最終処分場	
(2) 常滑武豊衛生組合	7
クリーンセンター常武（施設名称）	
①ごみ処理施設	
②粗大ごみ処理施設	8
③可燃性粗大ごみ切断機	
④資源物ストックヤード	
⑤ペットボトル専用ストックヤード	
(3) 中部知多衛生組合	9
①し尿処理施設	
(4) 知多南部広域環境組合	
5. 予算及び決算	10
(1) 平成26年度予算	
(2) 平成25年度決算	11
6. ごみ処理事業	13
(1) 4大区分17分別	
(2) 持込ごみ（自己搬入、許可業者）	14
(3) ごみ収集処理状況	16
7. ごみ減量化推進事業	18
(1) ごみの分別収集	
(2) 指定ごみ袋制（もえるごみ）	19
(3) 家庭ごみ有料化	
(4) 資源ごみ回収団体報奨金制度	20
(5) 生ごみ減容機器設置報奨金制度	
(6) アスパの無料配布	21
(7) 不用品登録制度	
(8) 常滑市公共施設養子縁組制度（アダプト・プログラム）	
(9) 資源回収ステーションでの資源回収量	22
8. し尿処理事業	23

1. 常滑市の概要

(1) 沿革

常滑市は昭和29年4月1日、常滑町、鬼崎町、西浦町、大野町及び三和村の4町1村が合併して誕生しました。

その後、南部に隣接した小鈴谷町のうち、大谷、小鈴谷、広目及び坂井の4地区が昭和32年3月31日に市域に加わり、現在の常滑市となりました。

以前の歴史をさぐると、昔、漁労の民が海岸沿いに、あるいは海を渡って当地に住みついたと想像されます。

平安時代後期の和名抄には知多贅代郷の地と記されており、永正4年(1507年)の宗長宇津山記には「伊勢の国多気より大湊に出で、尾張の国知多郡常滑という津に渡る」とあります。

戦国時代を経て江戸時代には尾張藩の治下であり、維新後は名古屋藩、額田県そして愛知県に属しました。

本市の地名「常滑」については、万葉集にも用例があり、学説では「常」は床の義をとり、「滑」は滑らかな義にとるのが妥当であるとされています。古くから、当地は岩土盤の露出が多く、その性質は滑らかになっており、この岩土盤全体をも「とこなめ」と呼び習俗を生んだものとされています。

(2) 市勢

①常滑市役所の所在地

常滑市新開町4丁目1番地

②常滑市役所の位置

東経 136度50分

北緯 34度53分

③広さ(H26.4.1現在)

面積 55.65km²

〔東西 6.0km〕
〔南北 15.0km〕

④世帯と人口(H26.3.31現在)

世帯 22,610世帯

人口 57,426人

2. 清掃事業の沿革

- S29. 4. 1 ごみ収集運搬杉江常利氏に委託
29. 7. 1 多屋・西之口地区のごみ収集運搬を浅野倉市氏に委託
(~S31. 3. 31)
30. 7. 26 大野地区のごみ収集運搬を竹内丈平氏に委託
(~S31. 7. 25)
30. 7. 27 し尿汲取りを業者(竹内丈平氏、平村圭正氏)に委託
31. 4. 1 多屋・西之口地区のごみ収集運搬を伊藤幾之助氏に委託
31. 5. 1 大野地区のごみ収集運搬を皆川庄一氏に委託
31. 5. 1 し尿汲取り業者を竹内丈平氏から皆川庄一氏に変更
32. 4. 1 市内全域のごみ収集運搬を杉江氏一社に委託
33. し尿収集運搬にバキューム車を導入
36. 7. 24 中部知多衛生組合発足
37. 9. 11 常滑武豊衛生組合発足
38. 6. 30 ごみ処理場竣工
(自然通風式及び強制通風式固定バッチ炉 30t/8H×1基)
38. 9. 10 し尿処理場竣工(135キリットル/24H 乙槽加温式消化法)
43. 11. 30 ごみ処理場増設工事竣工(5t/8H×2基)
49. 3. 15 ごみ処理場竣工(全連続燃焼式機械炉 75t/24H×2基)
49. 3. 15 し尿処理場竣工(200キリットル/24H 湿式酸化方式)
49. 10. 31 ごみ処理場(30t/8H×1基)撤去完了
51. 3. 31 ごみ処理場(5t/8H×2基)撤去完了
53. 12. 1 ごみ収集用紙袋の斡旋事業を常滑市農協に委託
59. 4. 一般廃棄物最終処分場(樽水蓮ヶ池地内)供用開始
(埋立容量 70,000m³ 埋立期間 5年)
61. 2. 28 し尿処理場新築工事竣工(220キリットル/24H 低希釈二段活性汚泥法+高度処理)
- H 1. 3. 25 粗大ごみ処理施設竣工(回転式横型破碎機)
2. 2. 28 ごみ処理施設竣工(全連続燃焼式機械炉 75t/24H×2基)
2. 4. 1 ごみ処理場施設名称をクリーンセンター常武とする。
3. 3. 20 常滑市一般廃棄物最終処分場(樽水奥平地内)竣工
4. 4. 1 可燃性粗大ごみ切断機稼動(切断式破碎機・ウイング刃付)
5. 11. 1 ごみの分別収集大野地区でスタート
6. 4. 1 ごみ処理手数料の徴収施行(事業系一般廃棄物 60円/10kg)

- H 6. 8. 31 資源物ストックヤード（舗装工事）竣工
- 8. 3. 31 資源物ストックヤード（上屋・休憩室）竣工
- 9. 1. 13 アルミスチール容器、無色茶色その他容器の保管施設として厚生省の指定を受ける（クリーンセンターストックヤード）
- 10. 10. 7 ごみの分別収集市内全地区で実施
- 11. 10. 18 ペットボトル専用ストックヤード竣工
- 11. 11. 1 ペットボトルの分別収集市内全地区でスタート
- 12. 3. 25 クリーンセンター常武ダイオキシン類抑制恒久削減対策整備事業として高度排ガス処理施設及び灰固形化施設竣工
- 12. 10. 2 指定ごみ袋制（もえるごみ）市内全地区でスタート
- 14. 4. 1 常滑武豊衛生組合手数料条例の改正
（事業系一般廃棄物 100 円／10kg）
- 17. 11. 1 常滑市公共施設養子縁組制度（アダプト・プログラム）スタート
- 18. 2. 1 プラスチック製容器包装、紙製容器包装の分別収集市内全地区でスタート
- 21. 2. 1 市内 12 店舗でレジ袋有料化スタート
- 22. 4. 1 知多南部広域環境組合発足
- 23. 3. 24 常滑市ごみ減量化推進市民会議発足
- 23. 7. 1 常滑武豊衛生組合手数料条例の改正
（事業系一般廃棄物 130 円／10kg）
- 23. 12. 10 資源回収ステーション開設（常滑市新開町 2 丁目地内）
- 24. 3. 16 常滑市ごみ減量化推進計画 2 0 1 2 策定
- 24. 10. 1 家庭ごみ有料化スタート
- 25. 5. 1 資源回収ステーションで小型家電の回収を開始
- 25. 9. 1 資源回収ステーションで家庭用パソコンの回収を開始
- 26. 4. 1 特小サイズ（10 リットル）の指定ごみ袋の販売開始

3. 事務分掌及び職員状況

(1) 事務分掌

生活環境課

環境衛生担当	<ul style="list-style-type: none">・一般廃棄物処理対策の企画及び調整に関する事。・一般廃棄物の処理に関する事。・廃棄物の使用料及び手数料に関する事。・し尿の処理に関する事。・浄化槽の設置及び管理指導に関する事。・火葬場の管理及び墓地（高坂墓園を除く。）に関する事。・狂犬病予防及び畜犬登録に関する事。・犬及び猫の死体処理並びにそ族、昆虫等の駆除に関する事。・中部知多衛生組合、常滑武豊衛生組合及び知多南部広域環境組合との連絡調整に関する事。・環境美化に関する事。・専用水道及び簡易専用水道等の衛生に関する事。
--------	---

環境保全担当	<ul style="list-style-type: none">・環境保全対策の企画及び調整に関する事。・公害の調査及び測定に関する事。・公害防止協定に関する事。・公害関係法等に基づく特定工場の届出の受理及び調査確認に関する事。・公害防除施設整備資金の融資に関する事。・生活排水対策の普及及び啓発に関する事。・生活環境の苦情相談に関する事。・新エネルギーの普及及び啓発に関する事。・空き地の適正な管理指導に関する事。
--------	--

(2) 職員状況 (H26.4.1 現在)

・生活環境課

課長、課長補佐 2人、主査 1人、主事 4人、主事（再任用）1人

・派遣

中部知多衛生組合 場長（課付課長）、主事（再任用）1人

知多南部広域環境組合 業務課長（課付課長）

4. 清掃施設

(1) 一般廃棄物最終処分場（埋立処理施設）

所在地 常滑市樽水字奥平地内 (TEL 0569-34-9250)

平成2年7月着工

平成3年3月竣工

平成3年度使用開始

開発面積 25,500 m²

面積 18,000 m²

容量 95,500 m³

残余容量 35,707 m³ (H26.4.1現在)

埋立工法 サンドイッチ工法 準好気性埋立

埋立計画期間 12.5年

汚水処理能力 80 m³/日

汚水処理方法 接触バッキー凝集沈澱－砂ろ過－活性炭吸着

事業費 元年度（整備計画） 22,594千円

2年度（実施） 724,441千円

日常生活より排出された不燃ごみ（陶器、ガラス類など）・破砕処理困難な物は、この施設で埋立処分します。埋立場から浸出する汚水は、汚水処理施設で水質汚濁の原因とならないよう処理します。

(2) 常滑武豊衛生組合

クリーンセンター常武 (施設名称)

所在地 〒470-2301 知多郡武豊町字老町田 2 7 番地

(TEL 0569-72-0530)

敷地面積 約 21,360 m²

ごみ処理施設 約 15,510 m²

粗大ごみ施設 約 3,260 m²

資源物ストックヤード 約 1,250 m²

ペットボトル専用ストックヤード 約 1,340 m²

経費の分担 均等割 1/10 人口割 4/10 投入割 5/10

受入区域 常滑市、武豊町

職員構成 41名 内訳 組合職員 (直営) 5名

臨時職員 1名

(H26.4.1 現在)

委託職員 (委託) 35名

① ごみ処理施設 (焼却施設)

委託収集、持込及び破碎処理施設から送り込まれた可燃物はこの施設で焼却処理します。焼却した灰は埋立処分します。

型式 全連続燃焼式機械炉 (三菱マルチンストーカ炉)

処理能力 150t/24H (75t/24H×2基)

ばい煙処理 反応集塵装置 (バグフィルタ方式) × 2基

事業費 3,475,999千円

工期 昭和62年6月22日 着工

平成2年2月28日 竣工

※ダイオキシン類抑制恒久削減対策整備事業

[1] 高度排ガス処理施設

事業費 572,250千円

工期 平成11年6月2日 着工

平成12年3月25日 竣工

[2] 灰固形化処理施設

事業費 619,500千円

工期 平成11年6月2日 着工

平成12年3月25日 竣工

② 粗大ごみ処理施設（破碎処理施設）

委託収集、持込された不燃物（直接埋立するごみを除く）は、この施設で破碎処理します。破碎した不燃物は、可燃物・不燃物・プラスチック類・鉄くずに選別し、可燃物・プラスチック類は焼却施設で、不燃物は埋立処分し、鉄くずは売却処分します。

型 式	併用施設（回転式横型破碎機 三菱シュレッダ）		
処理能力	25t/5H×1基		
事業費	900,887千円		
工 期	昭和63年6月2日	着工	
	平成元年3月25日	竣工	

③ 可燃性粗大ごみ切断機

型 式	剪断式破碎機・ウイング刃付		
処理能力	20t/5H		
事業費	106,399千円		
工 期	平成3年9月～平成4年3月		

④ 資源物ストックヤード

面 積	1,340㎡		
事業費	104,221千円	舗装工事	21,960千円
		設備工事	21,079千円
		建屋工事	61,182千円
竣 工	(造 成)	平成6年8月31日	
	(プ レ ス 等)	平成8年3月31日	
	(上屋・休憩室)	平成8年12月10日	

⑤ ペットボトル専用ストックヤード

面 積	約 1,100㎡		
事業費	58,275千円		
竣 工	平成11年10月8日		

(3) 中部知多衛生組合

所在地 〒470-2301 知多郡武豊町字壺町田90番地の10
(TEL 0569-72-0876)

敷地面積 17,359 m²

建築面積 3,211 m²

経費の分担 投入割 10/10

① し尿処理施設

型式 低希釈二段活性汚泥法＋高度処理 (凝沈、ガソ、砂ろ過)

処理能力 220キロリットル/日

生し尿	150キロリットル/日
浄化槽汚泥	70キロリットル/日

着工 昭和58年8月

竣工 昭和61年2月

事業費 2,304,278千円

受入区域 常滑市、半田市、武豊町

(4) 知多南部広域環境組合

所在地 〒470-2392 知多郡武豊町字長尾山2番地
(TEL 0569-84-1007)

構成市町 半田市・常滑市・南知多町・美浜町・武豊町

共同業務 ごみ焼却施設、ごみ中継施設及び粗大・不燃ごみ処理施設の設置及び管理

経費の分担 施設設置 均等割 10/100 人口割 90/100

施設管理 均等割 10/100 人口割 40/100 搬入量割 50/100

5. 予算及び決算

(1) 平成26年度予算

歳出 1,176,645千円

I 清掃総務費 57,896千円

1. 人件費	55,781千円
2. 清掃総務事務費	1,999千円
3. 負担金	116千円
1) 全国都市清掃会議負担金	92千円
2) ごみゼロ社会推進あいち県民会議負担金	24千円

II 塵芥処理費 936,656千円

1. ごみ処理事業費	105,596千円
1) ごみ収集運搬委託料	105,596千円
2. 資源物等回収事業費	100,308千円
1) 資源物等回収事業費	62,187千円
2) プラスチック容器包装資源化事業費	38,121千円
3. 公共施設の環境美化事業費	236千円
1) 公共施設の環境美化事業費	236千円
4. ごみ減量化推進事業費	44,727千円
1) 不法投棄監視事業費	3,188千円
2) 資源物回収ステーション運営費	5,018千円
3) 生ごみ減量化推進費	2,732千円
4) 啓発活動費	3,338千円
5) 家庭ごみ有料化事業費	30,451千円
5. ごみ処理管理費	19,725千円
1) ごみ集積場維持管理等経費	2,991千円
2) 最終処分場維持管理費	14,574千円
3) 最終処分場管理棟改修工事費	2,160千円
6. ごみ減量化推進基金積立金	88,501千円
1) ごみ減量化推進基金積立金	88,501千円
7. 負担金	577,563千円
1) 常滑武豊衛生組合分担金	561,155千円
2) 知多南部広域環境組合分担金	16,408千円

Ⅲし尿処理費	1 8 2, 0 9 3 千円
1. し尿処理事業費	4 2, 9 3 6 千円
1) し尿収集運搬委託料	42, 936 千円
2. し尿処理管理費	2, 0 2 7 千円
1) 汲取券取扱手数料	1, 746 千円
2) し尿処理諸経費	281 千円
3. 生活排水処理基本計画策定事業費	3, 2 4 0 千円
1) 生活排水処理基本計画策定事業費	3, 240 千円
4. 負担金	1 3 3, 8 9 0 千円
1) 中部知多衛生組合分担金	131, 114 千円
2) 中部知多衛生組合焼却灰処分費負担金	2, 776 千円

(2) 平成25年度決算

歳出	1, 0 7 8, 4 3 0 千円
-----------	---------------------------

I 清掃総務費	6 5, 5 1 2 千円
1. 人件費	6 3, 2 2 9 千円
2. 清掃総務事務費	2, 1 6 7 千円
1) 清掃総務事務費	2, 167 千円
3. 負担金（全国都市清掃会議等）	1 1 6 千円
1) 全国都市清掃会議負担金	92 千円
2) ごみゼロ社会推進あいち県民会議負担金	24 千円

Ⅱ塵芥処理費	8 8 0, 3 5 2 千円
1. ごみ処理事業費	1 0 0, 4 6 5 千円
1) ごみ収集運搬委託料	100, 465 千円
2. 資源物等回収事業費	9 6, 5 6 9 千円
1) 資源物等回収事業費	59, 677 千円
2) プラスチック容器包装資源化事業費	36, 892 千円
3. 公共施設の環境美化事業費	1 9 1 千円
1) 公共施設の環境美化事業費	191 千円
4. ごみ減量化推進事業費	3 6, 9 1 2 千円
1) 不法投棄対策事業費	2, 570 千円
2) 資源物回収ステーション運営費	5, 013 千円

3) 生ごみ減量化推進費	2,758 千円
4) 啓発活動費	2,306 千円
5) 家庭ごみ有料化事業費	24,265 千円
5. ごみ処理管理費	14,944 千円
1) ごみ集積場修繕費	488 千円
2) 最終処分場維持管理費	13,137 千円
3) ごみ処理諸経費	1,319 千円
6. ごみ減量化推進基金積立金	90,796 千円
1) ごみ減量化推進基金積立金	90,796 千円
7. 負担金	540,475 千円
1) 常滑武豊衛生組合分担金	527,677 千円
2) 知多南部広域環境組合分担金	12,798 千円

Ⅲ し尿処理費 132,566 千円

1. し尿処理事業費	39,856 千円
1) し尿収集運搬委託料	39,856 千円
2. し尿処理管理費	1,822 千円
1) 汲取券取扱手数料	1,547 千円
2) し尿処理諸経費	275 千円
3. 負担金	90,888 千円
1) 中部知多衛生組合分担金	88,064 千円
2) 中部知多衛生組合焼却灰処分費負担金	2,824 千円

6. ごみ処理事業

(1) 分別収集 4大区分 17分別

4 大 区 分	I もえる ごみ	II もえない ごみ	III 資 源 物	IV 粗大ごみ	
17 分 別	①もえるごみ	②もえないごみ	③アルミ缶 ④スチール缶 ⑤茶色びん ⑥無色透明びん ⑦その他びん ⑧生きびん ⑨新聞 ⑩雑誌	⑪段ボール ⑫紙パック ⑬布類 ⑭ペットボトル ⑮プラスチック製 容器包装 ⑯紙製容器 包装	⑰粗大ごみ

①家庭系ごみ収集方式・収集回数

もえるごみ	ステーション方式	週2回
プラスチック製容器包装	ステーション方式	週1回
もえないごみ	コンテナボックスによるステーション方式	月2回
資源物	コンテナボックスによるステーション方式	月2回

②委託収集（家庭系ごみ）

もえるごみ（週2回）

月・木 地区	矢田、久米、青海山、榎戸、多屋、奥条、市場山方、保示、熊野、苺屋、小鈴谷、広目、坂井
火・金 地区	前山、石瀬、宮山、小倉、大野、西之口、蒲池北条、瀬木、樽水、西阿野、古場、桧原、大谷

プラスチック製容器包装（週1回）

水	矢田、久米、前山、石瀬、宮山、青海山、小倉、大野西之口、蒲池、榎戸、多屋、北条、瀬木、奥条
木	樽水、西阿野、熊野、古場、苺屋、桧原
金	市場、山方、保示、大谷、小鈴谷、広目、坂井

もえないごみ・資源物（月2回）

	第1・3曜日	第2・4曜日
月	矢田、久米、前山	奥条
火	蒲池、瀬木	北条
水	樽水、西阿野、熊野 古場、苧屋、桧原	市場、山方、保示、大谷 小鈴谷、広目、坂井
木	小倉、大野	石瀬、宮山、青海山 西之口
金	榎戸	多屋

収集車両及び作業人員

H26.4.1 現在

車両区分	最大積載量	車両台数	作業人員
プレスパック	2.0	10	} 23人
ダンプ車	2.0	2	
軽四ダンプ車	0.35	1	
平ボディトラック	2.0	1	
平ボディトラック	1.5	1	
平ボディトラック	0.75	1	

(2) 持込ごみ（自己搬入、許可業者）

①常滑武豊衛生組合（クリーンセンター常武）

【搬入できるもの】

- ・粗大ごみ、引越、庭木の刈込、大掃除等で大量に出される家庭系ごみ、家庭用パソコン
- ・商店、工場、事務所、飲食店から出る事業系一般廃棄物

※クリーンセンター常武の受入基準に適合しないものは搬入できません。

【処理手数料】

- ・家庭系一般廃棄物：無料
- ・事業系一般廃棄物：130円/10kg

【搬入受付時間】

- ・月～金曜日 8:30～11:30、13:00～16:00
- ・土曜日 8:30～11:30（事業系一般廃棄物は平日のみ搬入可能）
- ・年末年始・日曜日・第3土曜日は休み

②事業系一般廃棄物収集運搬許可業者

- ・事業系一般廃棄物については、クリーンセンター常武に自己搬入できない場合は、市の許可を受けた収集運搬業者に直接依頼してください。

許可業者一覧（31社）

H26.4.1 現在／50音順

業 者 名	所在地	代表者	電話番号
(株) あおき環境開発	半田市	青木 良之	0569-27-5436
(株) アグメント	阿久比町	今津 哲次	0569-48-3594
市田建設(株)	常滑市	市田 浩樹	0569-34-6644
(有)伊藤運送	常滑市	田村 茂	0569-43-8010
岩田商店	常滑市	岩田 一成	0569-34-7043
(有)岩田清掃	瀬戸市	岩田 勝次	0561-21-0006
(有)ウイックス	美浜町	磯部 利之	0569-87-0158
(有)エンザイム	知多市	千賀 美佐	0562-55-0200
(株)榊原環境	半田市	榊原 康徳	0569-21-4885
サンエイ(株)	刈谷市	神谷 武之	0566-21-4301
サンスイサービス(株)	名古屋市	大岡 洋三	052-622-0947
(有)シービック	美浜町	渡邊 眞吉	0569-87-3131
(有)知多ホーム	常滑市	村上 忠司	0569-34-8187
中部資材(株)	名古屋市	大杉 誠	052-652-6272
(株)テクア	常滑市	平村 成一	0569-35-3817
トーエイ(株)	東浦町	今津 昭	0562-83-3880
(社)常滑市シルバー人材センター	常滑市	岩川 芳彦	0569-34-5125
(株)西山商店	名古屋市	西山 幸光	052-692-2393
福田三商(株)	名古屋市	林 寛子	052-825-2111
(株)富士商行	春日井市	金光 博彦	0568-82-0789
(株)朋栄社	碧南市	板倉 晃	0566-48-2888
ホームックス(株)	豊田市	餅原 幹也	0565-33-2468
(有)丸直運送	常滑市	伊藤 宜典	0569-35-3000
(有)マルハチ	常滑市	皆川 和美	0569-42-2976
(有)皆 貴	半田市	皆川 幸和	0569-24-6646
(株)宮 崎	清須市	梅田 慎吾	052-409-2285
(株)三四四	知多市	千賀 貴彦	0562-55-9050
(株)メイホーエコロジー	半田市	酒井 重博	0569-23-3003
(株)ユニオンサービス	名古屋市	松原 高治	052-623-5342
(有)渡邊運輸	常滑市	渡辺 和久	0569-34-5825
(有)藁重紙プレスセンター	常滑市	竹内 治光	0569-43-4135

③一般廃棄物最終処分場

搬入できるもの

一般家庭から出る土砂、コンクリートガラ、陶器、ガラスなど

※事業系廃棄物の受入はしていません。

受入時間

水・土曜日 9:00～11:30、13:00～15:30

※祝日・年末年始はお休みです。

※搬入前に市生活環境課で申請し、許可証をとってください。

④資源回収ステーション（平成23年12月10日開設）

搬入できるもの

資源物、もえないごみ（地域で実施している分別収集と同じ分け方・出し方）、家庭用パソコン

※プラスチック製容器包装の回収はしません。

受入時間

土・日・月曜日 8:00～12:00

※年末年始はお休みです。（開設日カレンダーで確認してください）

(3) ゴミ収集状況

(単位：t)

年 度		21	22	23	24	25	
収集人口（年度末）		55,525	55,814	56,350	56,826	57,426	
家庭 ごみ	収 集	可燃物	10,780	10,713	10,748	10,033	8,928
		不燃物	707	616	578	537	193
		資源物	2,709	2,649	2,583	2,703	2,873
	持 込	可燃物	1,155	1,116	1,042	1,319	1,367
不燃物		879	986	1,002	938	1,015	
公 共	可燃物	140	130	154	168	172	
	不燃物	32	32	36	56	43	
事 業 系	可燃物	5,799	5,577	5,678	6,053	7,141	
	不燃物	131	126	75	92	94	
合 計		22,332	21,945	21,896	21,899	21,826	

一人1日当たりのごみ排出量（資源ごみを除く家庭ごみ）

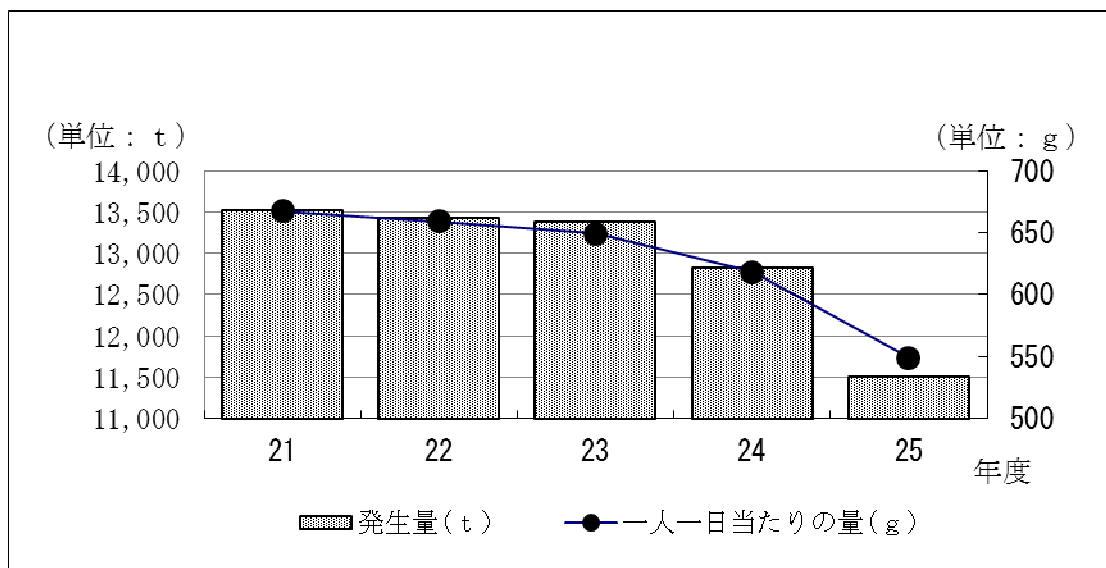
(単位：g)

年 度	21	22	23	24	25
排出量	667	659	648	618	549

一人当たりにかかるごみ費用

15,330 円

家庭ごみ（資源物を除く）発生量の推移



可燃物の組成率

(単位：%)

区分	21	22	23	24	25
紙・布類	40.2	52.4	58.3	57.5	55.5
合成樹脂・ゴム類	18.5	20.9	14.7	18.7	26.4
木・竹・わら類	23.0	13.4	13.7	12.6	10.1
厨芥類（生ごみ）	6.3	6.1	5.4	4.1	2.8
不燃物等	12.0	7.2	7.9	7.1	5.2

※常滑武豊衛生組合調べ

7. ごみ減量化推進事業

(1) ごみの分別収集

平成9年4月1日から「容器包装リサイクル法」がスタートし、消費者（分別排出）・市町村（分別収集）・事業者（再商品化）それぞれの責任が明確化されました。常滑市では、平成5年11月からごみの分別収集地区を拡大し、平成10年10月をもって、市内全域での実施となりました。また、平成11年11月から市内一斉にペットボトルの分別収集を実施しました。さらに、平成18年2月から市内一斉にプラスチック製容器包装と紙製容器包装の分別収集を開始し、「容器包装リサイクル法」に定められた全品目のリサイクルを実施することになりました。

分別収集開始年度

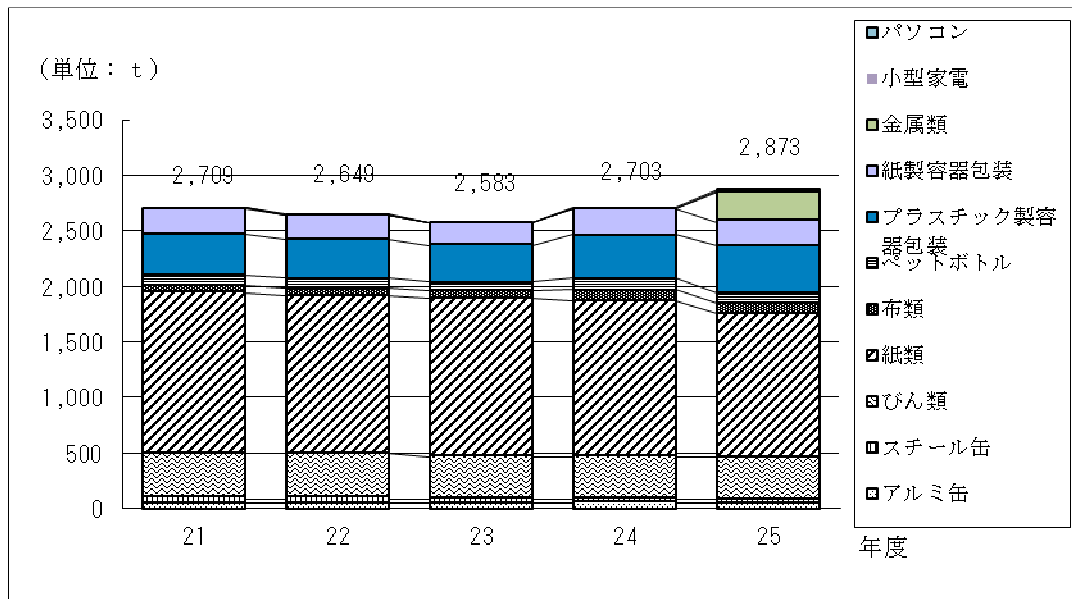
年 度	実 施 地 区
5	大野北、大野南、宮山、石瀬
6	西之口、小倉、市場、保示
7	蒲池、熊野、古場、坂井、広目、山方
8	小鈴谷、西阿野、榎戸、奥条
9	苅屋、大谷、樽水、瀬木、多屋
10	北条、矢田、久米、前山、桧原

資源化実績

(単位：t)

年 度	21	22	23	24	25
新 聞	849	855	839	800	747
雑 誌	366	334	345	365	325
ダンボール	223	222	218	219	201
牛乳パック	12	12	12	12	12
布 類	64	58	68	91	92
アルミ缶	55	58	54	62	52
スチール缶	51	51	44	41	38
び ん 類	394	390	383	380	380
ペットボトル	89	96	78	104	102
プラスチック製容器包装	371	352	339	393	417
紙製容器包装	235	221	203	236	234
金属類	—	—	—	—	257
小型家電	—	—	—	—	12
パソコン	—	—	—	—	4
合 計	2,709	2,649	2,583	2,703	2,873

◎資源物回収量の推移



(2) 指定ごみ袋制 (もえるごみ)

ごみの分別収集を実施した結果、ごみに対する市民の方の意識が高まり、大部分のごみ収集場所はきれいになってきました。

しかし、中の見えない黒色の袋などで出されるものに、びんや缶などの資源物やもえないごみが少なからず含まれています。このようなことから、更なるもえるごみの減量と分別収集の徹底、そしてごみ出しマナー向上を図るために、平成12年10月から指定ごみ袋制を導入しました。また、ごみ量の少ない高齢者世帯や単身世帯向けに、平成26年4月1日から特小袋(10ℓ)を導入しました。

(3) 家庭ごみ有料化

平成24年10月から、市民がもえるごみを各集積場に出す際に使用する指定ごみ袋代金に、手数料を上乗せする方法で家庭ごみの有料化を実施しています。

販売価格

種類	単位	価格
大(45ℓ)	1ロール (10枚入り)	500円
中(30ℓ)		300円
小(20ℓ)		200円
特小(10ℓ)		100円

(4) 資源ごみ回収団体報奨金制度

平成4年度からごみの減量と資源の有効利用並びに市民のごみに対する認識を深めるため、資源ごみ回収団体の活動に対し報奨金を交付しています。

子供会等概ね20人以上の資源ごみ回収団体に対し、1kgにつき4円を補助しています。(平成21年度までは1kgにつき5円)

実績

(単位：t)

年度	団体数	古紙	布類	アルミ缶	スチール缶	牛乳パック	金属類	合計
21	139	1,008	33	15	1	10	0	1,068
22	146	951	31	14	1	11	1	1,008
23	143	902	28	12	1	9	1	953
24	145	844	31	11	1	8	3	898
25	147	790	31	12	1	8	3	845

(5) 生ごみ減容機器設置報奨金制度

平成5年度からごみ減量化対策の一環として、家庭から出る生ごみの自家処理を促進するため市内在住の方が市内の販売店で生ごみの減容機器の購入をした場合に報奨金を交付しています。

【交付対象減容機器】

(平成23年度まで)

- ①底部がなく水分が地中に浸透する地上設置型の生ごみ肥料化容器

【コンポスト】

- ②電気乾燥等により生ごみを減量させる機器【電動式生ごみ処理機】

【交付額】

1基につき上限3,000円(1世帯につき2基まで)

(平成24年度から)

- ①底部がなく水分が地中に浸透する地上設置型の生ごみ肥料化容器

【コンポスト】

- ②EM菌を使用し、生ごみを堆肥化するための密閉された容器

【EMぼかし容器】

- ③電気乾燥等により生ごみを減量させる機器【電動式生ごみ処理機】

【交付額】

①②は1基につき購入金額の3分の2で上限4,000円(1世帯2基まで)

③は1基につき購入金額の2分の1で上限25,000円(1世帯1基まで)

※いずれも100円未満は切り捨て

実績

(単位：基)

年 度	21	22	23	24	25
コンポスト	16	11	9	169	26
EMぼかし容器				282	26
電動式	4	3	3	83	32
合 計	20	14	12	534	84

(6) アスパの無料配布

平成6年度から生ごみの減量化に役立てるため、生ごみから悪臭を取り除き有機肥料に変える「アスパ」を無料配布しています。

実績

(単位：袋)

年 度	21	22	23	24	25
袋 数	24,240	21,690	20,850	24,960	22,560

(7) 不用品登録制度

平成7年9月から家庭で不用になった物品のリユースを進めるために、市役所玄関と青海、鬼崎、南陵各公民館に「不用品情報コーナー」を設置し、「あげます・譲ります(有料)・求めます」の市民の情報を掲示し斡旋しています。

実績

年 度	21	22	23	24	25
登録件数	92	135	112	193	229
成立件数	60	88	59	88	107

(8) 常滑市公共施設養子縁組制度(アダプト・プログラム)

平成17年11月から市内の公園、道路、海岸などの公共施設の美化、保全のため、市民や企業が里親となり公共施設を養子にみたくて、ボランティアで管理していただく制度を実施しています。

登録団体数及び登録者数

年 度	21	22	23	24	25
登録団体数	71	81	80	88	96
登録者数	3,988	4,984	4,910	5,141	5,588

(9) 資源回収ステーションでの資源回収量

平成23年12月から、地区で月2回行う分別収集にもえないごみ・資源物を出すことができない市民向けに、土・日・月曜日に受け入れ可能な資源回収ステーションを開設しています。

回収実績

(単位：t)

年度	紙類	布類	アル缶	スチール缶	びん	ペットボトル	合計
23	38.0	3.1	1.5	0.4	7.3	0.9	51.2
24	163.1	16.0	10.4	2.4	29.3	7.1	228.3
25	210.0	21.0	8.3	3.6	41.8	10.4	295.1

8. し尿処理事業

(1) 収集体制

市内の2業者（委託業者）により、定期及び随時収集します。

(2) 汲取料金

従量制36リットルにつき240円（平成18年6月1日改正）

(3) 収集車両及び作業人員

H26.4.1現在

車両区分	最大積載量	車両台数	作業人員
バキューム車	1.8キリットル	5台	} 14人
〃	3.0	5	
〃	3.5	1	
〃	9.4	0	
〃	10.0	3	

(4) し尿及び浄化槽汚泥収集処理状況

(単位：kℓ)

年 度		21	22	23	24	25
し 尿		3,723	3,607	3,367	3,080	2,713
浄化槽汚泥		22,384	21,925	22,288	22,229	21,833
計		26,107	25,532	25,655	25,309	24,546
内 訳	施設処理	26,107	25,532	25,655	25,309	24,546
	海洋投棄	—	—	—	—	—